

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 鈴木雅実 副委員長 近藤公久・久保村千明
幹事 森下美和・坪田 康 幹事補佐 神長伸幸・高田明典

日時 12月10日(日) 9:10~18:00

会場 愛媛大学城北キャンパス校友会館2F サロン (松山市文京町3. <https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/> 富田英司)

議題 テーマ1:教育プログラムの効果を検討するための測定指標 テーマ2:思考と言語一般

1. 母語による公教育の重要性と継承言語を巡る問題 片田 房 (早大)
2. 日本の家庭における話題敬語の継承の分析 田邊和子 (日本女子大)
3. グローバル体験・グローバル意識・調査研究能力・科目学力間の関係性の解明—日本人高校生を対象としたケーススタディー— ○石川慎一郎 (神戸大)・岩見理華 (神戸大附属中)
4. 日本語母語話者の中国語発音改善に関する研究 ○康 茗淞・伊藤 篤 (宇都宮大)
5. 雨量予報, 降水確率とモダリティ 佐野 洋 (東京外語大)
6. 自然言語処理を用いた管理者の意図しないweb ページ改ざんの検知手法の検討
○会川尚太郎・稲村勝樹 (東京電機大)

午後 (12:45~)

7. 専門英語文書の読解のための学習用単語リストとそれによる効率の比較 ○山本寛之・河合敦夫 (三重大)
8. 文構造親密度が日本人英語学習者の文理解処理に与える影響—相対的文構造親密度に関する一考察—
○橋本健一 (阪教大)・鳴海智之 (兵庫教大)・藪内 智 (京都精華大)・里井久輝 (龍谷大)・濱田真由・平野亜也子・兵頭佳央理 (神戸大)・坂東美智子 (滋賀大)・原田康也 (早大)・横川博一 (神戸大)
9. 繰り返し接触が日本人英語学習者の関係節文理解に及ぼす影響—処理促進効果及びその持続性の検証—
○平野亜也子・横川博一 (神戸大)
10. 熟達度の違いが日本人英語学習者の第二言語産出時の統語的プライミング効果に及ぼす影響
○濱田真由・横川博一 (神戸大)
11. [チュートリアル講演] 潜在連合テストハンズオンセミナー 富田英司 (愛媛大)
12. 日本人英語学習者の疑問文産出傾向—英語母語話者との対話データから—
○森下美和 (神戸学院大)・河村まゆみ, 原田康也 (早大)
13. 学生の自発的な省察を促すには—学生主体の放課後プログラムを事例として—
○市本早香・富田英司 (愛媛大)
14. 特別支援学校における ICT 活用促進に向けての教員研修の効果測定
○星川良太・荻田知則・八木良広・伊勢本 大 (愛媛大)
15. 教職員免許法認定通信教育の効果を評価する指標作成の試み ○八木良広・荻田知則・伊勢本 大 (愛媛大)

☆TL 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2018年3月19日(月) 早大早稲田キャンパス [未定] テーマ: テーマ(1): 言語と学習・言語の学習 テーマ(2): 意味の創発・場の共創・創発とイノベーション テーマ(3): 通訳・翻訳・言語相対性仮説とホスピタリティーコミュニケーション

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>